

避難収容所

番号	名 称	所 在 地	電話番号
①	第1保育所	東金194-2	52-2549
②	県立東金高等学校	東金1410	54-1581
③	錦嶺小学校	東岩崎24-1	52-3402
④	城西幼稚園	台方131-1	52-2519
⑤	城西小学校	台方74-2	52-4168
⑥	西中学校	台方1327-1	55-5876
⑦	千葉学芸高等学校	田間1999	52-1161
⑧	東小学校	田間1188-2	52-2411
⑨	東中学校	田間953-1	54-2181
⑩	第2保育所	田間788-2	52-2505
⑪	嶺南幼稚園	堀上947-2	54-1479
⑫	東金中学校	堀上111	52-4195
⑬	県立東金特別支援学校	北之幸谷502	52-2542
⑭	日吉台小学校	日吉台2丁目32-1	55-5868
⑮	北中学校	日吉台1丁目20	50-2288
⑯	東金文化会館	八坂台1丁目2107-3	55-6211
⑰	県立東金青年の家	松之郷270	54-1301
⑱	県立東金商業高等学校	松之郷1641-1	52-2265
⑲	公平幼稚園	道庭360	52-3368
⑳	公平公民館	家之子885-3	52-1440
㉑	千葉県農業大学校	家之子1059	52-5121
㉒	城西国際大学	求名1	55-8800
㉓	大和公民館	田中784-1	54-1330
㉔	丘山公民館	小野101-4	54-1770
㉕	丘山幼稚園	丹尾4-2	54-0342
㉖	丘山小学校	丹尾4-2	52-2413
㉗	県立東金高等技術専門校	油井1062	52-3148
㉘	正気小学校	家徳34-1	58-5055
㉙	正気公民館	広瀬482-6	58-5046
㉚	正気幼稚園	広瀬141-1	58-5047
㉛	豊成小学校	関内550-1	58-3159
㉜	豊成公民館	関内564-3	58-3905
㉝	第4保育所	関内724	58-3150
㉞	やすらぎの家	東中906	58-4727
㉟	千葉県警察学校	土農田28-1	58-4111
㊱	第3保育所	前之内6-1	58-3908
㊲	福岡公民館	砂古瀬426-1	52-5360
㊳	福岡小学校	砂古瀬422-1	52-5361
㊴	第5保育所	砂古瀬476-1	54-1539
㊵	源公民館	上布田22-1	55-9100
㊶	源幼稚園	極楽寺845-10	55-9778
㊷	源小学校	上布田385	55-9613
㊸	東金アリーナ	堀上1361-1	50-1715
㊹	ふれあいセンター	田間421	50-1173
㊺	大和幼稚園	西福俵66	50-7612

避難収容所とは、学校の体育館など避難者のうち住居を失うなどした被災者が一時的に滞在できる場所です。

このマップの活用方法

- わが家建っている地盤の揺れやすさをチェックしましょう。
- 大きな家具や就寝場所など家の中の危険な所をチェックし、必要に応じ家具の転倒防止対策を行いましょう。
- 避難経路や避難収容所を確認し、家庭・地域で避難方法などについて話し合っておきましょう。

注意点

- このマップに示す震度は、震源の位置や地震の規模を想定したものであり、地震の発生の仕方によっては、これより強くなったり弱くなったりすることがあります。あくまでも予測結果であることを理解したうえで、防災対策にご活用ください。
- このマップで使用した地図（東金市地形図）は、平成11年9月に作成されたものです。したがって、一部現況と異なる場合があります。

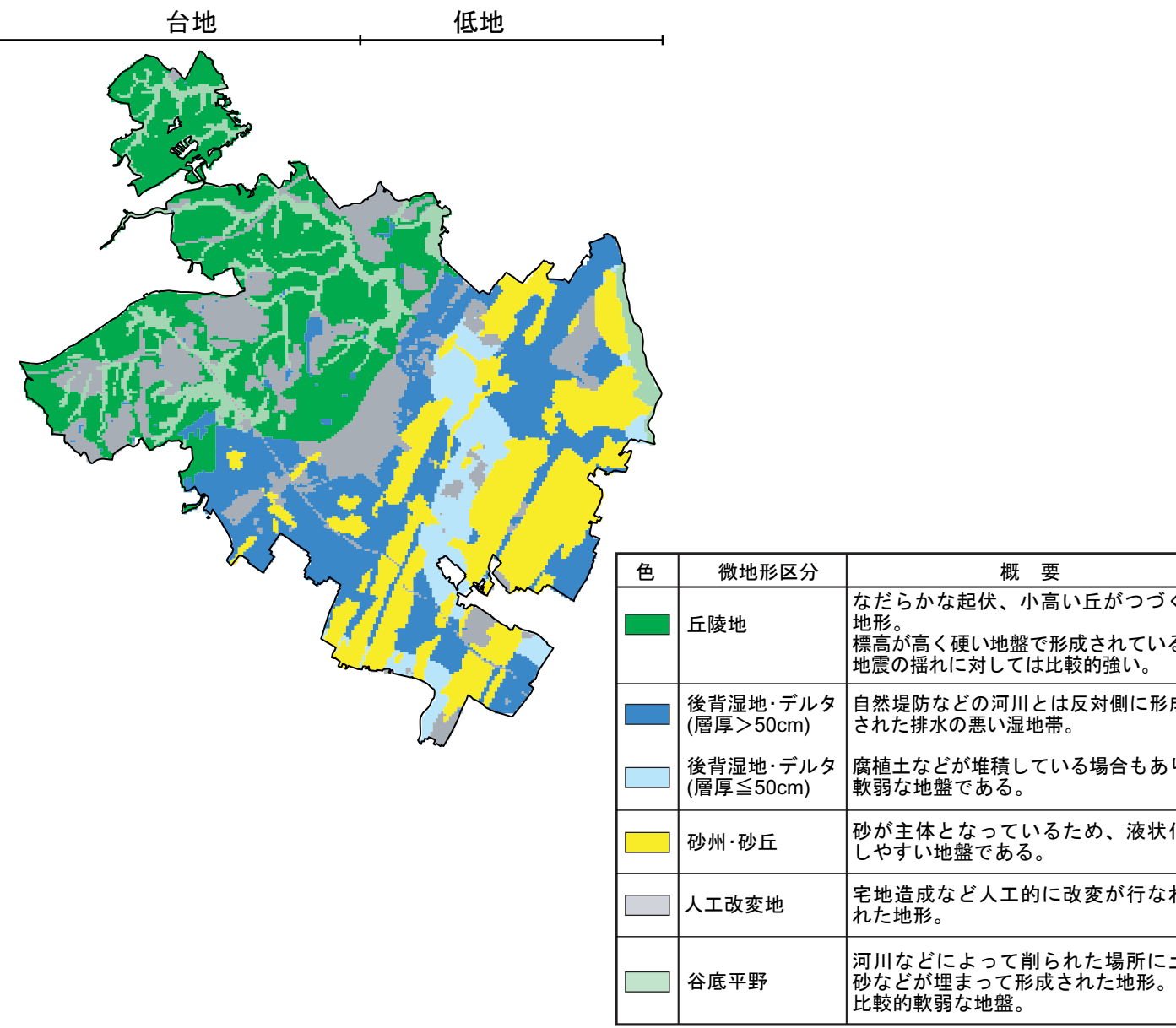
東金市地震ハザードマップ

揺れやすさマップ

揺れやすさマップは、東金市直下に地震（震源の深さ20km、マグニチュード7.2）が発生した場合の想定震度分布を50mメッシュ単位に色で表示したものです。

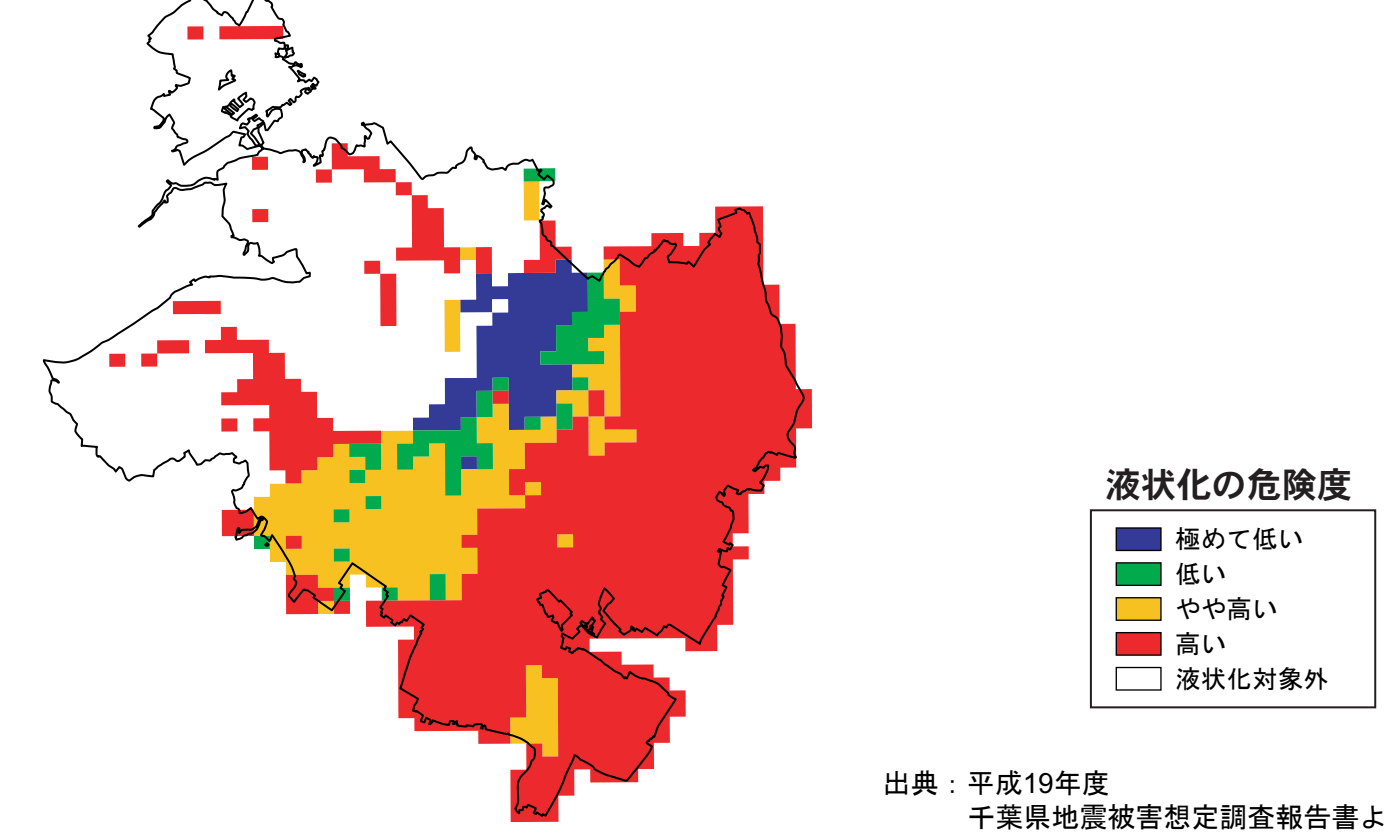
東金市の地盤

- 東金市の地形は、主に西側が「台地」、東側が「低地」です。
- 地震による揺れは、地盤と密接な関係にあります。台地などの硬い地盤は地震による揺れが少なく、低地などの軟らかい地盤は地震による揺れが大きくなる傾向にあります。
- 軟らかい地盤に建物を計画する場合は、地盤調査や基礎工事を十分に行なってください。

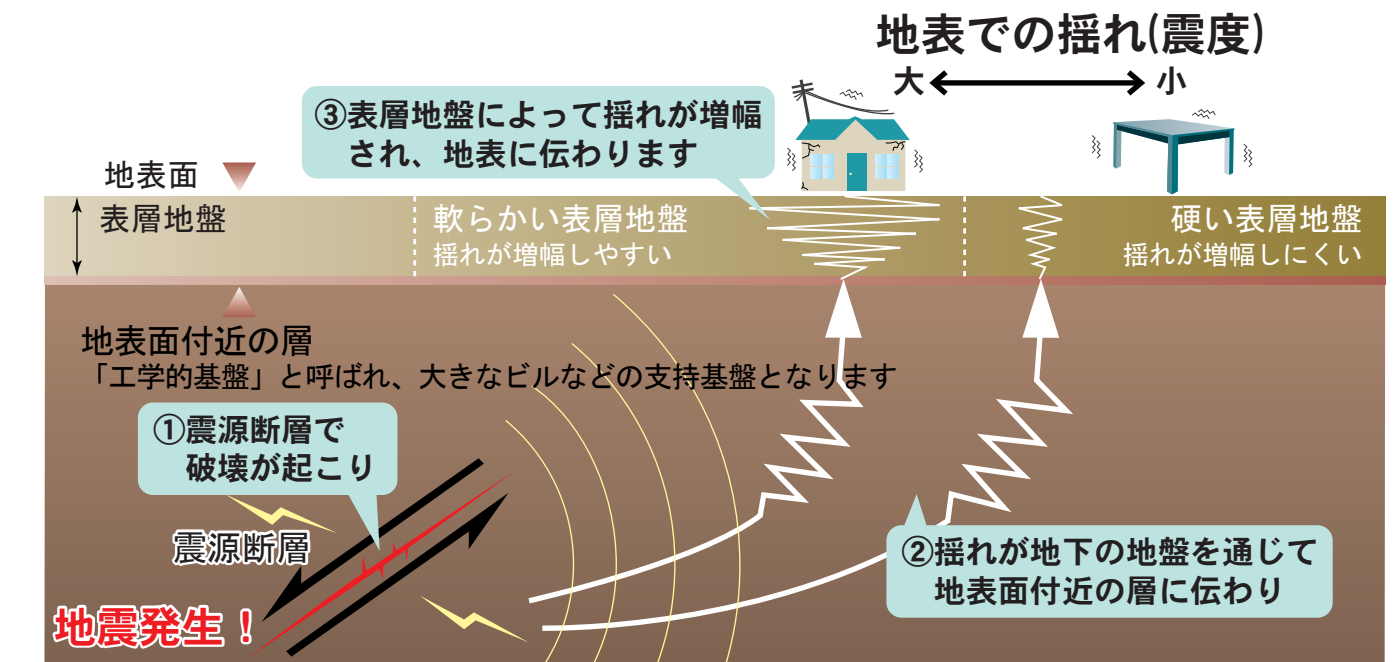


液状化

- 液状化とは、地震によって地盤が一時的に液体になってしまう現象です。水分をたくさん含んだ砂質の地盤で発生する現象で、地盤の上の建物を傾かせたり沈めさせたりします。
- 液状化によって建物が壊れる可能性もあります。



地震の揺れの伝わり方のイメージ



地震の揺れについて

- 揺れの大きさは、
- 震源断層から地表面付近までは、概ね震源断層からの距離に応じて減衰していきます。
- 表層地盤では揺れの増幅の仕方が表層地盤の性状によってかなり異なります。一般的には表層地盤が軟らかければ揺れは増幅しやすく、硬ければ増幅しにくい傾向があります。
- 地形が大きく変化するような場所では、少し離れただけでも揺れが大きく変わることがあります。

色	震度	震度階級	状 況
紫	7.00未満 6.75以上	7 [※]	● 人の感覚 揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。 ● 建物内の状況 ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶことがある。 ● 屋外の状況 ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。 ● 木造建物 耐震性の高い住宅でも、傾いたり、倒壊するものがある。
橙	6.75未満 6.50以上	6 ^強	● 人の感覚 立っていることができず、はわないと動くことができない。 ● 建物内の状況 固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。 ● 屋外の状況 多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。 ● 木造建物 耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱がかなり破損するものがある。
緑	6.00未満 5.75以上	6 ^弱	● 人の感覚 立っていることが困難になる。 ● 建物内の状況 固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。 ● 屋外の状況 かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。 ● 木造建物 耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。
青	5.50未満 5.00以上	5 ^強	● 人の感覚 非常な恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。 ● 建物内の状況 棚にある食料類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。 ● 屋外の状況 補強されていないブロック塀の多くが崩れる。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。 ● 木造建物 耐震性の低い住宅では、壁や柱が破損したり、傾くものがある。

※震度階級「7」、「6強」、「6弱」は、震度の値から二段階に区分します。

発行 東金市
問い合わせ先 建設経済部都市整備課
〒283-8511 東金市東岩崎1番地1
☎ 0475-50-1150
E-mail : tosei@city.togane.lg.jp

平成 22 年 3 月発行

